

## DOC60

対象 乳癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	ドセタキセル	60mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	60min	d 1

1コース期間	21日間,				
総コース数	PDまたは、治療の継続が困難な有害事象が発現するまで				
コース間での休薬の規定	投与開始前に以下の基準を満たしていることを確認する。満たしていない場合は休薬し、基準を満たした時点で投与を開始する。なお、コース開始が延期された場合は、延期された開始日をそのコースのday1とし、以降のスケジュールはこれに従う。				
投与量の増量規定	規定せず				
減量規定・中止基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドセタキセル減量規定/第1段階: 50mg/m<sup>2</sup></li> <li>・38℃以上の発熱を伴う好中球減少症(1000/<math>\mu</math>L以下)あるいはコントロールできない全身倦怠感が生じた時は投与を1週間延期する。</li> <li>・Grade3以上の非血液毒性的毒性が発現した場合は本治療を中止する。</li> <li>・投与予定日より14日を超えても以下の開始基準を満たさない場合は、本治療を中止とする。</li> </ul>				
コースによる変化	規定せず				
投与間隔の短縮規定	規定せず				
2コース目以降の投与開始基準	自覚症状、一般臨床所見 白血球数 好中球 血小板 ヘモグロビン 熱発 肝機能 腎機能				Grade 0-2 3000/mm <sup>3</sup> 以上 1000/mm <sup>3</sup> 以上 50000/mm <sup>3</sup> 以上 8.0g/dL以上 感染を伴う38℃以上の発熱がない AST, ALT, T-Bilいずれも基準値の上限2.5倍以下 クレアチニンが基準値の上限以下
注意すべき副作用					

# DOC60

1コース期間

21日

投与所要時間

1時間30分

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	day1	day8	day15
主管	1	カイトリルバッグ 100mL デカドロン 6.6mg		div	400mL/hr (15min)	○		
	2	5%ブドウ糖 250mL ドセタキセル 【            】mg/body	60 mg/m <sup>2</sup>	div	250mL/hr (60min)	○		
	3	生食 50mL		div	200mL/hr (15min)	○		

## コメント

day2～デカドロン8mg 分1朝食後 2日間(浮腫対策)

## Reference:

Jones, S. E., et al. Randomized phase III study of docetaxel compared with paclitaxel in metastatic breast cancer. J Clin Oncol 23(24):5542-51.2005